

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		環境園芸学科		
科目名称	特別支援教育						授業形態		講義	
科目コード	421120	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	石本 隆士								ICT活 用	○
授業概要	特別支援教育の基礎的な専門性を養うために、特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難を理解します。その上で、特別支援教育に関する制度の理念や仕組み、個別の教育的ニーズに応じ他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法について理解します。その際、特別支援学級や通級指導教室での指導経験を活かし、保育機関や学校の現状を踏まえながら理解を図れるようにしていきます。									
関連する科目										
授業の進め方 と方法	授業は、プレゼンテーションソフトを用いた講義を中心としながら、インターネット上における意見の共有や交換、アンケートへの回答など多様な活動を取り入れます。また、グループによるディスカッションや意見交換を行い、学生が自ら考えたり他者と協議したりすることで思考を深めていく機会を設けるようにします。									
授業計画 【第1回】	障害とは何か 障害の多様な状態像とICFの捉え方、定義について学びます。									
授業計画 【第2回】	知的障害 知的障害についての基礎的な理解と指導・支援の在り方について学びます。									
授業計画 【第3回】	自閉症 自閉症についての基礎的な理解と指導・支援について学びます。									
授業計画 【第4回】	情緒障害 情緒障害の基礎的な理解と指導・支援の在り方について学びます。									
授業計画 【第5回】	学習障害 学習障害の基礎的な理解と指導・支援の在り方について学びます。									
授業計画 【第6回】	ADHD ADHDの基礎的な理解と指導・支援の在り方について学びます。									
授業計画 【第7回】	視覚障害・聴覚障害・言語障害 視覚障害・聴覚障害・言語障害の基礎的な理解と指導・支援の在り方について学びます。									
授業計画 【第8回】	肢体不自由・病弱と重度・重複障害 肢体不自由、病弱、重度・重複障害の基礎的な理解と指導・支援の在り方について学びます。									
授業計画 【第9回】	特別支援教育に関する制度 特別支援学校・特別支援学級・通級指導教室、特別支援教育の教育課程、個別の教育支援計画及び指導計画について学びます。									
授業計画 【第10回】	通常の学級における特別支援教育 診断等はないが特別の教育的ニーズが予想される状況の捉え方と手立てについて学びます。									

授業計画 【第11回】	関係者・関係機関との連携 特別支援教育における連携と支援体制の構築について学びます。
授業計画 【第12回】	行動面に注目したアセスメント 行動を評価することにより特別的教育的ニーズを把握する方法を学びます。
授業計画 【第13回】	心理面に注目したアセスメント 発達検査や知能検査などにより特別的教育的ニーズを把握する方法を学びます。
授業計画 【第14回】	自立活動の指導 自立活動の具体的指導例について学びます。
授業計画 【第15回】	特別支援教育の現状と課題 特別支援教育の現状について概観し、今後の特別支援教育の在り方について考えます。
授業の到達目標	1. 特別の支援を必要とする子どもの特性及び心身の発達を理解し、説明することができる。 2. 特別支援教育における教育課程や個別の計画、支援体制構築の意義と内容を理解し、個別のニーズに応じる指導・支援の方法を考えることができる。 3. 障害はないが特別的教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難と、それらに対する手立てを考えることができる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	授業の中で自分の考えや他者との話し合いを求めるため、各自で授業内容について確認や予習をしておくようにしてください。(30分程度)
授業時間外学習【復習】	受講後はレポートや小テストを実施するので、学習内容を確認、復習しておいてください。(30分～1時間程度)
課題に対する フィードバック	小テスト等については授業の中で解説します。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価します。 1) 授業に臨む態度（ペア、グループワーク参加への積極性）と小テスト等の内容（30%） 2) 定期テスト（70%）
テキスト	テキストは使用せず、適宜プリント等を配布します。
参考書	特別支援学校学習指導要領解説総則編（幼稚園・小学部・中学部）文部科学省（2017） 特別支援学校学習指導要領解説各教科等編（小学部・中学部）文部科学省（2017） 特別支援学校学習指導要領解説自立活動編（幼稚園・小学部・中学部）文部科学省（2017） 障害のある子どもの教育支援の手引き 文部科学省（2022）
備考	37年間、公立小学校に勤務（通常の学級の担任5年、通級指導教室担当14年、特別支援学級担任18年）。